

[JPA2020-071]「日本学術会議会員任命拒否問題」に対する日本心理学会のその後の対応について

If you are unable to see this message, click the URL below.

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2020/11/JPA2020-071.pdf>

公益社団法人日本心理学会 会員 各位

◆-----◆  
 「日本学術会議会員任命拒否問題」に対する日本心理学会のその後の対応について  
 ◆-----◆

日本心理学会は、日本学術会議会員任命拒否問題（以降、学術会議問題）につきまして、菅内閣総理大臣宛の要望書を10月7日に発出して以降、人文・社会系学協会連合連絡会という、人文・社会両分野に関連する学協会が学術会議問題に共同でアクションをとるための連絡会に加わり、理事長並びに常務理事が10月14日以降、4回の会議に参加してまいりました。会員の皆様におかれましては、この度の要望書の発出に関して、学術会議問題に対する常務理事会や理事会の決定のプロセス、学会HPでの公表と会員への説明の時間的ずれなどの厳しいご指摘や数多くの励ましも含め、様々なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

その後、学術会議問題での他学協会との連携行動について、本学会理事のご賛同を得、本日、11月6日午前、本学会は他の人文・社会系の主要学協会とともに、学術会議問題についての意見表明を日本記者クラブで行い、午後には声明文の提出を行う予定です。その内容は、すでに日本心理学会が単独で行った要望書に記載されたものと同じもので、以下のリンクでご覧になることが出来ます。

<https://psych.or.jp/wp-content/uploads/2020/11/201106.pdf>

なお、今回の共同声明について、心理学関連学会としては現時点で、日本心理学会のほか、心理科学研究会、日本感情心理学会、日本教育心理学会、日本グループ・ダイナミックス学会、日本行動分析学会、日本質的心理学会、日本青年心理学会、日本生理心理学会、日本動物心理学会、日本認知心理学会、日本臨床心理学会、法と心理学会が参加されておられます。

学術会議問題は、様々なメディアでいろいろな形で報道され論議されておりますが、学会に参加し学術的な活動に関わる私たちにとっては、無視することのできない大きな問題であるというのが、常務理事会の共通の認識であります。今後とも皆様のご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

◆-----◆  
 ■新型コロナウイルス（COVID-19）に関する特設ページ

<https://psych.or.jp/special/covid19/>

■心理学研究 特集号 公募（締切 2021年2月末予定）

「新型コロナウイルス感染症と心理学」

[https://psych.or.jp/publication/sp\\_JJP/](https://psych.or.jp/publication/sp_JJP/)

■Japanese Psychological Research 特集号 公募（2021年4月末締切予定）

